

## 県外行政視察レポート②!!

建設環境委員会において、去る5月12日から14日まで、「ごみ減量化」の先進的な取り組みをしている掛川市、京田辺市、奈良市の3自治体を視察訪問してまいりました。

### 【掛川市】

江戸時代に東海道の主要宿場町として、掛川城を核とした城下町から発展を続け、主要産業の一つである緑茶栽培では全国屈指の産出量を誇る掛川市では、ごみ減量の取り組みとして、「発生抑制（リデュース）、再利用（リユース）、再生利用（リサイクル）」の3Rに加え、リフューズ（ごみになりそうなもの、不要なものは手にいれない。）を加えた4R運動が実施され、その中でも、市民団体が主になり生ごみ処理の講習会の開催や、古紙回収コンテナの設置など、ごみ減量化に向けた取り組みの一つとして、市民との協働の取り組みを行っていました。



掛川市：生ごみ処理講習会の様子

### 【京田辺市】

大阪市と京都市のベッドタウンとして発展を続ける京田辺市の取り組みとして、行政と市民との協働で、不用品の販売を行うリユース事業の一つとして、市が施設を提供し、市民ボランティアが運営を行っている「エコパークかなび」、商店街空き店舗を活用した「エコパークかなびキララ店」の取り組みを視察してきました。



京田辺市：エコパークかなび&キララ店

### 【奈良市】

奈良市は、奈良県の県庁所在地として、また文化的、歴史的な観光資源を有す古都として、ごみ減量に向けた市の取り組みとして、分別意識の醸成に市民との協働で「ごみ減量キャラバン」を実施したり、資源物は、住民の自主的回収に加え、地元の民間ルートで回収、資源化が進められているなど、それぞれに特徴がありました。

ごみ減量への取り組みは、私たち市民も責任を持って推進していかなければなりません。今回の視察で得た知識については、市職員とともに市政に反映できるよう議論を進めてまいります。



## 地域ニュース

市政  
報告



発行：草加市議会議員 関 一幸

<http://www.wan-happy.jp>

## 国指定名勝「草加松原」 県内3件目56年ぶり!

本年3月18日付けをもって文部科学大臣が、国の文化審議会からの答申を受け、草加市に所在する「草加松原」を「おくのほそ道の風景地」の一群をなすものとして、正式に国の名勝に指定しました。

それを受け5月24日に開催された記念式典には、多くの市民の皆様や関係諸団体の皆様が参加し、皆さんと共に名勝指定の喜びを分かち合う姿をみました。松並木の保存や管理に力を注がれてきた先人たちの取り組みに対し、改めて敬意と感謝の気持ちでいっぱいです。



草加市議会議員  
関 一幸



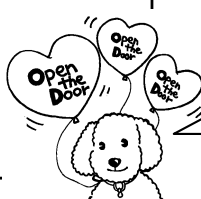
同時に今後、この素晴らしい財産をしっかりと守り、後世に引き継がなければならない責任を痛感しています。保存管理はもちろんです。松並木を新たな観光資源としてどのように利活用していくかという視点も重要です。自治体財政が逼迫している中で、地域経済の活性化は最優先に取り組まなければならない課題であり、今回の名勝指定は地域の活力を引き出す上で大きな契機になりうと思います。

私は長年、草加の地場産業である草加煎餅屋を営んできました。産業振興には欠かせない地場産業の活用と新たな観光資源である「草加松原」をうまく結び付け、草加市の更なる活性化に寄与してまいりたい所存です。

-地域の皆様のご意見・ご提言・ご要望をお寄せ下さい-  
-草加市に住みたい、住み続けたいと思えるまちづくり-

関 一幸 事務所

〒340-0023 埼玉県草加市谷塚町 580  
TEL: 923-1188 FAX: 927-8818  
mail: seki@wan-happy.jp  
<http://www.wan-happy.jp>



★議会の様子がホームページからご覧いただけます！本会議中は生中継です。★

≪ 草加市議会ホームページ ≫

[www.soka-shigikai-unet.ocn.ne.jp](http://www.soka-shigikai-unet.ocn.ne.jp)

草加のがんばりを報告します！



## 平成 26 年草加市議会 2 月定例会について①!!

### 市長提出 33 議案、委員会提出 2 議案、議員提出 5 議案を可決!

◆平成 26 年草加市議会 2 月定例会は 2 月 19 日から 3 月 14 日までの 24 日間にわたり開かれ、市長から提出された「平成 26 年度草加市一般会計予算」、「草加市学校施設使用料条例の一部を改正する条例の制定について」、「草加市休日急患歯科診療所設置及び管理条例を廃止する条例の制定について」等 33 議案を原案通り可決しました。

## 平成 26 年度一般会計予算 675 億 200 万円 前年度比 0.2%増 平成 26 年度主要事業

### 誰もが安心して暮らせるまち

- ◆第二庁舎建設事業（平成 26・27 継続事業）【予算額：約 4 億 8100 万円】  
本庁舎の整備期間中の一時移転先として、また、第二庁舎の老朽化・狭隘化を解消し、現行の耐震基準に適合する安全で安心な庁舎に建て替えます。
- ◆防災行政無線固定局デジタル化更新工事【予算額：2 億 1000 万円】  
設置から 30 年程度経過している老朽化した防災行政無線の設備を、アナログ機器からデジタル機器へ更新し、災害時の情報伝達手段の再構築を行います。
- ◆公共下水道雨水整備事業【予算額：約 1 億 5100 万円】  
市民の生命と財産を守るため、松江第 2 排水機場を初めとする排水機場の整備を進め、大雨や台風、ゲリラ豪雨等による浸水被害の軽減を図ります。
- ◆認知症検診事業【予算額：約 750 万円】  
草加市独自の認知症チェック表を各医療機関に配置し、各自自己チェックした内容をもとに、医師の判定を受けていただくことで、認知症の早期発見や状況に応じた適切な治療につなげていくものです。
- ◆防犯カメラ設置事業【予算額：約 470 万円】  
刑法犯の発生が多い草加駅、松原団地駅周辺に、犯罪抑止を目的として、36 台の防犯カメラを設置します。

### 生き生きと学び・育つまち

- ◆子ども・子育て支援事業計画の策定【予算額：約 800 万円】  
平成 27 年度から本格的な施行が予定されている新制度に備え、草加市の実情に応じた子ども・子育て支援を推進するための 5 カ年度の事業計画を策定します。
- ◆民間保育所の新設【予算額：約 4 億 2470 万円】  
待機児童の解消を図り、子育て世帯を支援するため、平成 27 年 4 月開所を予定し、新たに民間認可保育園 4 園の整備を進めます。
- ◆保育園の耐震化【予算額：約 970 万円】  
旧耐震基準により建築された公立保育園について、順次、耐震診断を行います。平成 26 年度は、しんぜん・こやま・やつかみ保育園の診断を行います。
- ◆小・中学校エアコン設置事業【予算額：約 1 億 1600 万円】  
子どもたちの教育環境を改善するため、暑さ対策として市内全小・中学校の普通教室・音楽室にエアコンを設置し、7 月からの稼働を予定しています。
- ◆子ども教育連携推進事業【予算額：約 3320 万円】  
小・中学校の入学前後に実施する接続期モデルプログラムなど、子ども教育連携推進研究事業を研究団体等において試行的に実施していきます。

## 平成 26 年草加市議会 2 月定例会について②!!

### 暮らしたい・訪れたいまち

- ◆国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」の保存・活用推進事業  
【予算額：約 1020 万円】  
草加松原の名勝指定を祝すとともに、その価値を広く周知し、末永く維持・管理を図っていくための保存管理計画策定に係る情報収集を行います。
- ◆名勝指定に伴う観光検証事業【予算額：約 620 万円】  
名勝「草加松原」を訪れる観光客への「草加人のおもてなし」の具体的な実施に向けた企画・提案を取りまとめるとともに、PR・観光誘致用グッズを作成します。
- ◆新規バス路線整備事業【予算額：約 1100 万円】  
交通不便地域の解消を図るため、平成 25 年度に策定した「草加市公共交通再編計画」で位置付けられた新規バス路線の導入に向けた準備と走行路線のバス停留所の修繕などを行います。
- ◆草加駅西口駅前交通広場改善事業【予算額：約 9000 万円】  
草加駅西口駅前広場の交通処理の円滑化、バリアフリー化を行い、市の玄関口にふさわしい賑わいづくりを行うため、バス停留所の整備などの改修工事を行います。

- ◆草加市学校施設使用料条例の一部を改正する条例の制定について  
草加市立栄小学校の建て替えに伴い、一般の利用に供する開放施設の使用料を定めるものです。  
【一般利用できる施設】※平成 26 年 6 月 1 日～  
◎多目的ルーム、調理室、視聴覚室
- ◆草加市休日急患歯科診療所設置及び管理条例を廃止する条例の制定について  
草加市休日急患歯科診療所の診療設備の老朽化に伴い、市民サービスを総合的に勘案し、同診療所を廃止します。  
◎平成 26 年度から、休日及び年末年始については、草加歯科医師会に当番医制の診療業務を委託します。

## 県外行政視察レポート①!!

平成 26 年 4 月 23 日（水）大阪府豊中市「暮らし再建サポート事業について」、24 日（木）福井県敦賀市「名勝・名所を生かしたまちづくりについて」、25 日（金）滋賀県湖南市「障がい福祉について」を案件とし先進的な取り組みをしている自治体を視察訪問してまいりました。

特に豊中市では、生活困窮者に対する就労支援をハローワークとの連携や全庁での部局横断的な対応により、生活保護を受給する前段階で歯止めをかけるための仕組みを学ぶことができました。

生活保護受給者数は年々増え続け、自治体財政を圧迫しています。同時に一部ではありますが、不正受給や貧困ビジネスと呼ばれる問題も顕在化し、社会問題になっています。

草加市でも生活保護の問題や課題については様々な対応がなされメディアでも取り上げられるなど注目を集めていますが、より抜本的な問題解決のためには更なる事業展開が必要です。

豊中市の例を参考に改善に向け、議会の場で提案してまいります。

\*写真は、敦賀市にて撮影  
左：名勝 気比の松原  
中：人道の港 敦賀ムゼウム  
右：有形文化財「赤レンガ倉庫」

